

2022年度臨時理事会 議事録

一般社団法人 日本損害保険代理業協会

日時：2023年1月17日（火）9：30～10：04

会場：Zoom WEB ハイブリッド会議

出席者：全理事数 18名、出席理事数 17名、出席監事数 1名（津田監事）

リアル出席：小田島会長、石川理事、金澤専務理事、小見常務理事

WEB出席：横山副会長、小俣副会長、山中副会長、佐々木理事、雨宮理事、下村理事、小橋理事、谷川理事、北島理事、松本理事、藤山理事、大城理事、大和理事、津田監事

会長 小田島綾子氏は、議長席につき、出席理事数の確認を行い、本理事会は定款第33条に基づき、有効に成立した旨（成立宣言時16名出席）を報告して開会を宣し、直ちに議事に入った。

〔審議事項〕

1. 日本代協アカデミーのシステム改定に伴う利用料金の改定

石川教育委員長より、2つの案について提案があり、審議・採決の結果、全会一致で第2案が採択された。

【決定したこと】

・新利用料金一覧

	利用料金体系	
	利用料金	値上げ額
1人	6000	500
2-9人	12000	1000
10-19人	25000	3000
20-29人	38000	5000
30-49人	55000	11000
50-99人	65000	21000
100-149人	93000	49000
150-199人	120000	76000
200-299人	170000	126000
300-499人	200000	156000
500-699人	250000	206000
700-899人	300000	256000

・激変緩和措置

激変緩和措置の対象：

前年比較で倍以上の値上げとなる既利用会員（上表の100名以上区分）

激減緩和措置：

2023年4月～2024年3月の1年間の利用料金は新利用料金の50%とする

但し、100～149人区分、150～199人区分は65,000円とする

【主な説明】

- ・日本代協アカデミーは創設後3年が経過した、システム疲労によるシステムダウンが複数回発生しており、また、この3年間で提言されている使い勝手向上に関する要望を実現するため、プラットフォームの移行が不可欠な状態である。
- ・利用料金の体系についても何度もシミュレーションを行っている。今回提案の内容は昨年9月理事会にて頭出しさせていただいた内容から改定されたものである。
- ・当初の提案議案（2022.12.23配信）では、50～99人と100～299人の値上がり幅が急激となり、バランスがよくないとの意見があり、上昇カーブの緩和化について検討し、ベンダー等と再交渉し、区分を細分化した追加提案を設けた。「100-299人」を「100-149人」、「150-199人」、「200-299人」と3区分に細分化した。「100-149人」、「150-199人」の区分の激変緩和措置については、50%を適用すると「50-99人」区分の料金と矛盾が生じるため、65,000円とした。

- ・代理店賠償のように、1名単位で保険料（利用料）を設定し、規模により逓減させる形が最もなだらかな利用料金カーブとなり、さらに損保トータルプランナーの認定取得者数等による料金割引制度も導入することが望ましいが、システムの構築・運営のためのロード・コストは利用料金区分がより少ない方が設計も運営もしやすく、ロード・コストもかからない実情がある。
- ・いずれにせよ、日本代協アカデミーの取組みの目的や本質的な意義について周知し、業務品質の高度化を目指し、ルーティンに取り入れる会員を、現在ご利用いただいている823会員・7,479IDから、大幅に増やしていく必要がある。
- ・2023年3月までは、2022年10月末までに入金いただいた半額の利用料金で利用できるが、「目指せ、三冠王！」の取組でカウントする数値は、2023年2月～3月に予定している新システムの申込・入金済（3月末）の集計数値となるのでご注意ください。
2023年4月以降に新システムを利用される会員には、激変緩和措置は適用されないため、今のうちから現行の旧システムでの日本代協アカデミーへの中途申込みを推奨する。

【主な意見】

- ・1年間のみの激変緩和措置の適用であるため、値上げとなる層の会員から意見はないか。
- ・値上がりしても十分に廉価であるが、区分別に単価を示す場合は、最大人数での単価と表記する方がよいと感じた。
- ・使い勝手の向上やコンテンツの充実状況を料金体系とセットで展開することになるが、周知する際に、登録だけでなく利活用についても一気にフォローする必要がある。
- ・新システムのプロモーションに当っては、利用登録IDの普及目標に届いていないという要因もあるが、当初設定の料金表が杜撰であったことのお詫びも取り上げるべきである。

〔監事講評〕津田監事から以下の通り監事講評があった。

- ・審議事項1件と絞り込んだ臨時理事会であった。
使い勝手の向上やシステムバージョンアップ対応は必要と考えるが、日本代協アカデミーの構築・運営に関する全体像を把握したうえで、コスト面に関してはグロスで過不足等を確認し、代協負担や利用者負担のあり方についても検討することが重要と感じている。
教育委員長から改めて発信いただきたい。

以上

< 諸会議開催予定 >

2023年01月～2023年3月のスケジュール (案)

損保会館の予約状況ならびに会議体のあり方の改定状況によっては、日程の変更がありますので、予めご了承ください。

2022年度	2月10日(金)	10:30～11:50	財務委員会	日本代協会議室
		13:00～17:00	第7回理事会 テーマ:臨時総会議案、通常議題	
		18:00～	損保協会役員との夕食懇談会(損保協会主催)	
	3月1日(水)	15:00～18:00	2022年度第2回「活力研」	日本代協 会議室
	3月9日(木)	10:30～12:00	正副会長打合せ	日本代協 会議室
		13:00～16:30	第8回理事会	
	3月10日(金)	10:00～12:00	臨時総会	損保会館 2F(大会議室)
		13:00～14:00	政連通常代議員会	〃
		14:00～18:00	会長懇談会,16時～金融庁保険課長との意見交換会	会場 未定
		18:10～19:30	同上懇談会(有志・立食・会費制を予定)	

以上をもって、議長は理事会の終了を宣し、10時04分閉会した。

なお、WEB会議システムにより、出席者の音声即時に他の出席者に伝わり、出席者が一堂に会するのと同等に適時的確な意見表明が互いにできる状態が保たれ、終始異状なく議案の審議を終了した。

上記の決議を明確にするため、この議事録を作成し、出席会長（代表理事）及び出席監事がこれに記名押印する。

2023年1月17日

議長 会長 小田島綾子 印

議事録署名人 監事 津田文雄 印